

業務実績報告書

提出日 2020 年 1 月 15 日

1. 職名・氏名 教授 輪倉一広

2. 学位 学位 博士、専門分野 文学、授与機関 名古屋大学、授与年月 2007.3

3. 教育活動

(1)講義・演習・実験・実習	
①担当科目名 (単位数) 主たる配当年次等	社会福祉学概論 (4 単位) 1 年生
②内容・ねらい	社会福祉学科における専門教育の導入科目として位置付けられる。社会福祉の全般にわたってその枠組みと基礎知識を学ぶ。
③講義・演習・実験・実習運営上の工夫	講義時間の最後にリアクション・ペーパーを書いてもらうことで、講義内容等への関心や疑問を知ることができた。
①担当科目名 (単位数) 主たる配当年次等	基礎演習 (2 単位) 2 年生
②内容・ねらい	専門教育の導入である 2 年生のゼミということで、様々な調べや活動を行い、福祉に関する知的な興味や関心を発展させる。
③講義・演習・実験・実習運営上の工夫	刊本から社会事業家とその活動・思想についてまとめさせ、発表・意見交換することでさらに学びを深めることになったまた、時々社会福祉の分野にも関連のある社会見学を実施した。
①担当科目名 (単位数) 主たる配当年次等	導入セミ (1 単位) 1 年生
②内容・ねらい	大学での学習を円滑に進めるための技術や心構えを身に着ける。身につける。
③講義・演習・実験・実習運営上の工夫	受講生の興味・関心を引き出し、彼らとの対話を重視してグループ学習を行った。
①担当科目名 (単位数) 主たる配当年次等	社会福祉発達史 (2 単位) 2 年生
②内容・ねらい	仏教・儒教・キリスト教についての福祉思想史を主に講義した。制度福祉の学習を基底で支える知識の獲得を意図した。
③講義・演習・実験・実習運営上の工夫	思想の根拠がよくわかるような講義資料を準備した。
①担当科目名 (単位数 分担) 主たる配当年次等	卒業研究 (4 単位) 4 年生
②内容・ねらい	学部での学びの仕上げとして、卒業論文作成の全般について指導する。
③講義・演習・実験・実習運営上の工夫	計画的な論文作成ができるよう、都度の課題を与えてそれを積み上げていく指導をした。

①担当科目名（単位数） 主たる配当年次等 社会福祉学特論（2単位）大学院1年生
②内容・ねらい 大学院入学生が社会福祉理論を理解することは、修士論文に取り組む上で有用である。ここでは、代表的な社会福祉理論として岡村理論を取り上げそれについて理解を深める。
③講義・演習・実験・実習運営上の工夫 参加学生のバックグラウンドに配慮して、広く自由な意見の場となるように授業を展開した。
①担当科目名（単位数） 主たる配当年次等 社会福祉学演習（2単位）大学院1年生
②内容・ねらい 受講生個々の研究テーマに即して、関連する文献から研究の視点・研究方法等を学ぶ。
③講義・演習・実験・実習運営上の工夫 毎回課題をこなして準備してもらい、発表してもらう。
①担当科目名（単位数） 主たる配当年次等 修士論文指導（8単位）大学院2年生以上
②内容・ねらい 修士論文を完成させる総合的な指導。
③講義・演習・実験・実習運営上の工夫 学生の個別の事情に配慮して、研究への主体的な取り組みを支援する。
(2)非常勤講師担当科目
①担当科目名（単位数） 開講学校名 特になし
②内容・ねらい
③講義・演習・実験・実習運営上の工夫
④本学における業務との関連性
(3)その他の教育活動
「要約筆記者移行研修講座特別講義」福井県聴覚障がい者センター、2017年7月、2018年10・11月、2019年10月。

4. 研究業績

(1)研究業績の公表
① 論文 「日本におけるハンセン病研究の動向・視座と検討課題」『第7回韓国社会福祉歴史学会秋季学術大会論文集』2018年10月 「ハンセン病救済（＝救癩）をめぐる倫理関係の諸相—1930—1940年代を中心に」『社会事業史研究』No.56、社会事業史学会、2019、59-73頁 「臀肉事件の倫理—ハンセン病の民衆道徳考」『福井県立大学論集』No.52、2019、1-13頁
② 著書 特になし
③ 学会報告等 「日本におけるハンセン病研究の動向・視座と検討課題」、第7回韓国社会福祉歴史学会秋季学術大会、2018年10月

④ その他の公表実績 書評「清水寛著『ハンセン病児問題史研究―一国に隔離された子ら』『社会事業史研究』No.52、2017、137 - 144 頁
(2)学会活動等
学会でのコメンテーター、司会活動 社会事業史学会第 47 回大会共通論題シンポジスト、2019
学会での役職など 日本社会福祉学会機関誌査読委員
学会・分科会の開催運営 特になし
(3)研究会活動等
① その他の研究活動参加 特になし
② その活動による成果 特になし
(4)外部資金・競争的資金獲得実績 科学研究費補助金（基盤研究(C)）「近代日本のハンセン病宗教福祉思想史研究」2016 年 4 月－2021 年 3 月
(5)特許出願 特になし

5. 地域・社会貢献

(1)学外団体
① 国・地方公共団体等の委員会・審議会 福井県社会福祉センター指定管理者外部評価委員会会長 2017-2019 年度 美浜町地域福祉計画策定委員長 2017 年度 坂井市保健福祉部指定管理者評価委員会会長、同部指定管理者選定委員会会長 2018 年度 勝山市総合行政審議会委員 2018 年度-2019 年度 日本学術振興会特別研究員等審査会委員 2019 年度-2020 年度
② 国・地方公共団体等の調査受託等 特になし
③ 公益性の強い NPO・NGO 法人への参加 特になし
④ （兼業規程で業務と見なされる範囲内での）企業等での活動 特になし
⑤ 大学間あるいは大学と他の公共性の強い団体との共催事業等 特になし
⑥ その他 特になし
(2)大学が主体となっている地域貢献活動等
① 公開講座・オープンカレッジの開講 特になし
② 社会人・高校生向けの講座 特になし
③ その他 特になし
(3)その他（個人の資格で参加している社会活動等） 特になし

6. 大学の管理・運営

(1)役職（副学長、部局長、学科長）
社会福祉学科長 2017-2018 年度
(2)委員会・チーム活動
1 年生主担 2019 年度、大学院案内作成担当 2019 年度、国家試験支援委員会委員長 2019 年度
(3)学内行事への参加
出前授業（県立丹生高校）2017 年度 出前授業（県立羽水高校）2018 年度 出前授業（県立丹生高校）2019 年度
(4)その他、自発的活動など
特になし